小学部　外国語活動全体計画

【学校の教育目標】
個々の障がいの状況と心身の発達に応じた教育活動を通して、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るとともに、人間性豊かにたくましく生きる幼児児童生徒を育てる。
＜めざす子どもの姿＞
○意欲的で主体性のある子　　○豊かな情操をもち、協調性のある子
○健康で、たくましく生きる子　○豊かにコミュニケーションできる子

【外国語活動の目標】

○第３学年・第４学年
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
（２）　身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
（３）外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

○知的代替の教育課程
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語や外国の文化に触れることを通してコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。
（２）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。
（３）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【中学部との連携】
英語科担当教員による授業

ＡＬＴなどネイティブ・スピーカーとの交流

【第３学年・第４学年の内容】

英語の特徴に関する事項
・言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。
・日本と外国の言語や文化について理解すること。

情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項
・自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合うこと。
・身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問したり、質問に答えたりすること。

言語活動及び言語の働きに関する事項
・「聞くこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」
・児童の身近な暮らしに関わる場面（家庭での生活、学校での学習や活動、地域の行事、子供の遊びなど）、特有の表現がよく使われる場面（挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内など）

⇩

第５学年・第６学年外国語へ

【知的代替の教育課程における内容】

英語の特徴に関する事項
・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。
・日本と外国の言語や文化について、慣れ親しむこと。

自分の考えや気持ちなど表現したり、伝えたりする素地に関する事項
・身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとすること。
・身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようとすること。

言語活動及び言語の働きに関する事項
・「聞くこと」「話すこと」
・児童の遊びや身近な暮らしに関わる場面（歌やダンスを含む遊び、家庭での生活、学校での学習や活動など）
・特有の表現がよく使われる場面（挨拶、自己紹介など）

【各教科等との関連】

【国語】　外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことで、言葉の大切さや豊かさに気づき、言語に対する関心を高める。
【社会】　外国について、調べ学習などを通し、言語や文化の違いに気づいたり、外国と日本の関係を知ったりすることで関心をもつ。
【算数】　外国語での数の数え方や図形の表現、金銭や買い物に使う言葉について知り、興味・関心をもつ。
【理科】　日常生活で見聞きする自然現象や動植物について、外国語で表現されている物に気づき、関心を示す。
【音楽】　外国や日本の音楽に触れることで、その違いや特徴に気づいたり、外国語の音声やリズムに慣れ親しんだりする。
【図画工作】　作成した作品をショー・アンド・テル（発表活動）の中で紹介するなどして、外国語活動への興味・関心を高める。
【生活（知）】　身近な生活の中で触れる外国語に気づき、関心をもつ。
【家庭】　衣・食・住に関する学習を通し、日本との外国の生活や習慣の違いや共通性に関心をもったり、それらにかかわる外国語表現に興味をもったりする。
【体育】　体育やスポーツで日常的に使われている外国語について理解し、活動場面で使うなど、進んで親しもうとする。
【自立活動】　外国語の音声や身振りで表現される言葉などに注意をはらって聞いたり見たりしながら、コミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。
【総合的な学習の時間】　外国語を通じて、世界の言語や文化・生活について興味・関心をもち、理解を深めようとする。
【特別の教科　道徳】　外国の言語や文化について、体験的に理解を深め、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。
【特別活動】　集団の中で、自他の良さを認め、互いに協力し合い、広い視野をもち、より良い生活や人間関係を築こうとする。